



定年後、奥さまの故郷・田布施町を^{ついすみか}終の棲家と決め、移ってこられて14年目となる井上さんに、主宰されている「昭和の名曲を歌い継ぐ会」について語っていただきました。井上さんは現在4つの合唱団に所属され、クラシックから演歌まで幅広く歌っておられます。



No.293

「昭和の名曲を歌い継ぐ会」の活動

長合自治会 井上 和彦

あなたも、「歌う集い」に参加して一緒に歌いませんか。とっても楽しい集いです。

歌の大好きなあなたへ「昭和を歌う集い」へのお誘い、と題して「激動の昭和、64年間。素敵な歌・忘れ得ぬ歌がたくさん作られ、歌われました。歌いました。あなたの父さん・母さんが歌い、あなたが青春時代に口ずさんだ懐かしい歌の数々、昭和の流行歌をぜひ一緒に歌います。楽しい仲間とご一緒にティータイムには、ケーキとコーヒーを楽しみながら、時を忘れ、大いに歌って語り合いたい」と呼びかけました。平成25年10月初旬のことです。そして10月23日に「歌大好き」の14人が、光市光井公民館に集い、歌声を響かせました。

昔から「歌の好きな人に悪人はいない」と言いますから、正に善男善女によつて、昭和がよみがえった瞬間でした。「昭和の名曲を歌い継ぐ会」主催「昭和を歌う集い」は、こうして始まりました。

翌年の3月からは室積の東部憩いの家に会場を移し開催。会

特選流行歌50曲を歌い終えて迎えた、平成26年4月から「昭和の名曲を歌い継ぐ会」の趣旨に沿い「昭和の流行歌を、ぜひ一緒に歌おう」と、「集い」を二部構成にして開催しています。第一部では昭和初期、第二部では昭和32年から、それぞれ年を追って、その時代の出来事を思い起こしながら、昭和の名曲を5曲ずつ、合わせて10曲を歌います。

「昭和の名曲を歌い継ぐ会」は、この6月で45回目となる「昭和を歌う集い」を主催する一方、老人会に呼ばれて出前講座を開催したり、介護施設のボランティア活動もしています。柳井市山根のデイ・サービスへの訪問は、6月で61回目となります。

「昭和を歌う集い」は、5月末日現在、47人の参加があり、隣町平生町中央公民館と、光市のあいばーく光と東部憩いの家の3カ所に分かれて、開催しています。それぞれ、第4月曜日・火曜日・水曜日開催。参加費は、

500円。ケーキと、スティック・コーヒー、大きな文字の歌詞カード付です。6月の集いでは「祇園小唄」「侍ニッポン」「酒は涙か溜息か」「丘を越えて」「影を慕いて」と、「誰もいない海」などを歌います。



右上图：生涯学習のマスコット「マナビイ」
デザイン：右ノ森章太郎

あいさつで つながる

田布施西小学校 校長

山崎 新二

「おはようございます。」



「たまたま街を歩いていると、前から歩いてくる子どもたちの集団とすれちがいました。『こんにちは』とあいさつをすると、どの子どもも元氣よくあいさつしてくれるのです。そのあいさつがとても気持ちよく、とっても幸せな気持ちになりました。(後略)」

前任校で、ある日突然校長室に届いた手紙です。街で出会った、見知らぬ児童の気持ちのよいあいさつに感動したこと、児童に親近感がわいたことなどが綴られていました。同じあいさつでも、言葉だけで全く心に響かないものもあります。しかし、この場面では、言葉だけではなく、子どもたちの素直な心、優しい心も届けられたのでしよう。

西小においても、毎朝、元氣なあいさつが通学路に、校内にと響き渡っています。多くのあいさつに、言葉とともに気持ちがつながってきます。その証拠に、みんなのあいさつの声を聞くと、「今日もがんばるぞー」と元氣がわいてきます。何とも言えない幸せな気持ちにもなります。あいさつを交わすと、いろいろと会話をしたわけでもないのに、相手のことが、少し分かったような気になるから不思議です。きつと、わずかですが心がつながった一瞬となっているからでしょう。

人と人が、よりよくつながるためにとても大切なあいさつ。まさに、あいさつは人の心をつなぐ架け橋です。「あいさつがあふれる学校・家庭・地域」をめざして、今日も元氣に、心が伝わる気持ちのよいあいさつを心がけます。

No.185

サークルスケッチ

懐かしの歌教室

■講師 渡辺 綾子

■日時

毎月第2火曜日 午前9時～正午

■場所 麻郷公民館

■代表者 甲斐 勝紀

■問合せ先 ☎52-5227



私たち『懐かしの歌教室』は、平成7年に発足し22年の歴史があります。現在、プロのジャズシンガーである渡辺先生に、毎月第2火曜日、麻郷公民館にて午前9時～正午まで指導していただいています。生徒は現在30人を数え、多くがレディーであります。その中に男性が4人ひっそりと存在しています。

月に1回の練習日を、皆さん心待ちにしているようです。練習当日は、先生の指導で声を出すための準備体操から始まり、発声練習はピアノの音階を変えながら「まーまー、まーまー」とじっくり練習をして、次に季節にあつた童謡や唱歌を何曲か練習します。途中、コーヒータイムで一息入れ、会話を笑いがはじけます。その後、渡辺先生推薦の曲や、皆さんが歌いたい曲を練習します。『365日の紙飛行機』『未来へ』『花は咲く』など、新しい若い人の曲も習います。

渡辺先生は褒め上手で、親子ほども年の違う生徒を褒めあげて調子に乗せると、いくつになっても褒められると嬉しくなつて自信がつくのか、ますます声を張り上げて歌うとうまくいくようで、また褒められます。終わりに、スカットとストレスが身体から抜けているようです。

このような感じの『懐かしの歌教室』は、体操あり歌あり笑いありで、健康で長生きのソースが満載です。昨年は、たぶせ苑、生涯学習芸発表会、敬老会などで合唱しました。今年度も機会があれば、舞台での合唱に臨みたいと考えております。元氣で長生きしたい人、みんなで歌いませんか。

